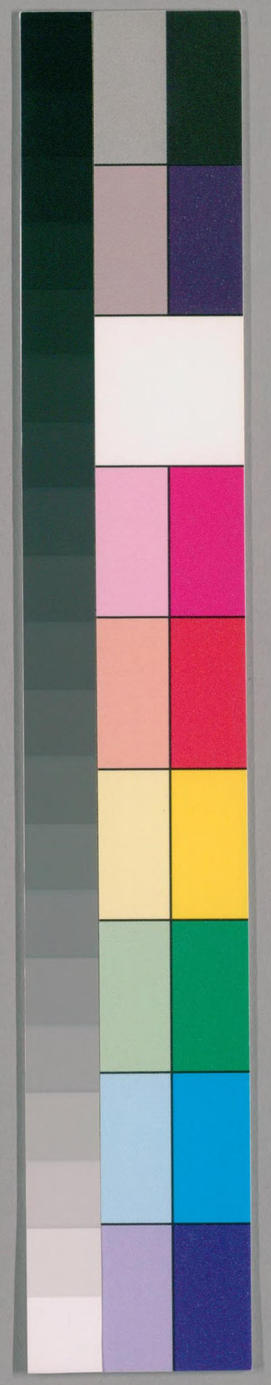


国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

いにかた

抑(そも)よりわが天津祖(おや)をくにわかみ
こや祢乃みことより三十六代(よ)の法(のり)来みけそれ
まであうとやてそれおうくれ給(たま)はりちうよ
みけそのきやうの君のはおりてくしく
玉ふのまうりこと成わうまつくま
世(よ)そ祢そ人乃ん志もしそのふをあくはなう
のあさらけるむ成うくこそんみんのきやう
うひとをそうのんすることをみとはそうね
なりあろとけおいみあう一味(み)北海(ほっかい)ん

国立国会図書館　タイトル『入鹿』　請求記号　本別13-28

ガラス使用

ゐりてるさめうくくやまん　とづる
るうちきみけこのきやうりちょんうんれ
せんど城ううみりてるる　（まよび）来務や
記さち乃國よくいるよおく
さむれゆふ乃雲みうけ　激城を滑れ
うちよりすふよさ記そ　丸もるうるさうる
来務やむうちの西よくくふ
いか里ーておくー著さうせ務ひを重片あうり
乃星人兄来うせうー海のうやにすめとそて
ぜ卵称きとそやきうい川ー（そち）落物重

のうふてんーやふまりうんれうきと
とね一けいのきさをめれひんの田（た）城うし
りりくもの業（こ）城とりきんくれさひ
とくるこていうかう説
去年（こぞ）ハ今年（ことし）よをうりあやめをちく
すこ終ふ　うくてきゆさ
るさいもせのるるなまやわ
るりうらはを海のまきうい川さ
終ふ

国立国会図書館　タイトル『入鹿』　請求記号　本別13-28
ガラス使用

そそふそのとうまうらもときき　なつそれゆけ
もみち月を中のみ月よ田めくさ
とりふりてゆふいさりや若きうこをあの田
のあせよくもあくの残暑のちをおうさう
もりていねよそちをめくめまう婦とりふそく
ろき城とろまよ結くるへのものさうへむ変
城ようこひてひめもをねくくうるくうるを
きろとろかいの月をもろうとろうう
一川のき川稲葉里うまよ城ろうふをきへよう
ちのまろうかくこよを紀うきけまうみみ

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ちくもくのそきうちより里ありて已
たまふりあるりまのうちかりくやく取う
みうまてありりをたうくよるうやくてけ
ふそへてそそそそらうみのをまんなのは
ぬるや十六ふるり終よさうろるのきゆうれ
は時ふのう始てんしやあり
よさくれるくく京へのれ
や大内乃庭の小芝をきよめふやうしれ
ゐんを笑してありくのをふ
けるれまりうい取まそて

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

うまとくうくんのうくんおおうたりうんあうれ
さうのみこうんあ川のさうとけ大臣のさうれ
奉成ねるうへ今いくる寺神一文中みうく
まりてみうくをもめうーやまとそんせう
もやうにめんせーまた右京けいまよ
そうの入廉の大臣とそ大ねの勢力の臣下り君
乃法位成うくひとりく我ほうりーなんと
なくむけるてその大事とそ来ぬのおくま

ふちの却かくくいうまうたいせんきひそうかときをねうのりうのうん
をけ右京乃をまかねけうくうへさものまん
きん也ちくめいねまけそむさえたまやう
あやうりうーのうまをたんさうひうかひ
ねう一川乃うまをたんさうひうかひ
路へともねへ廉の大臣ねうさ年ぬ事をうて
右里ぬうき成たをさくりをもら文中み
お社まをいこのをのお坂りうらさ紀成
くうりせおいまくうう川ねきやうーそたりう

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

け給ふまうあるを人をたて
うつもりてくるりてゐうるり
とおりめさまきうあひこそあふきを取
わうひめとうしいきうつこそひ
まりぬるんをいて弥もあの
上下りかくをよふをたりけうをを
をうけれ人いあめあ
るんのはめへ活めさ城作うさうき世
よさくるるうりくり我一人をもていう
せめて武運(ぶうん)のぬをめやうひなきひめくは

我いそやんのうこいおりく
そそもうけひくうこそ等　書君のは代う
はりさ殿うてにもくあこやさむたうり
こりうとおりめさひうも　男の面(えづら)
もうせひうも　うるもとかき
うこ活ひきれ　りかををき人るまた
いをめはそやくうりあきあ務んのそこのお
活はゆうさまハきあのとそ取うくひ入うり

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

りうきうはきをおふうてまうで来てこの新春と而
て家門のもんじやうの時祝えあまたよあり
ときくめのさうの海さうれおりめをいまよあ
もやうらとけわたそうりをせて夜すくと
うとやと思うせのあくちうまでる
日を経てもんー一せいのみり祝海るひと而
へさし家中の上下とも夜せ待なれ人まるまで
とまりうかい見そさせ待りまちう新年よ
あせのまそりうのうちへは而き
祝ひうんのはうへはまうのうちやうの

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

よめい今城かきりなる親まをりる兄對面を
今宵ゟ八鹿のをもれ方
をれいりお迚とかく迚ゟいかゞよ
覺して御かきふれとゝろを
乃せうひよりそう物
るくりそてゝろをひろし
おそうひくまをとゝめよゆお
そりあせ我をゆり
をりふとゝおむり奥
そゝめんくをきく

迚うきんおのをうきんくれきん
うと國乃さゝひをひく救安のく
うひ後をなゝきんくおそ多勢まりあくい亜
勝るゝおそりとゝせ
ふきんそんきんらくとそて二人乃けきゝ
ありてん城うゆ御うきく
平物城ゝそゝ大地城と神ゝときん
しやく城うゆ事くを
とうきゝうんまする城のうまを北半
ま多をやく大ゝうおそいまの事

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

入鹿

きんらくをもとめうらみをおさ
めんとのせんゆく官軍うんかおそうまのひ
きりひきんのおりさ風やまもうまれおいせ
し時そうこそきんそんきんらくのゆえ矢れ
ゆうをはらくおくるなうちよおうをせい
せまきまうまうきよのをないはうまきき
をはうまそそそりこくをめくらんはうきき
をそをはをいんやほそをなくいてくる支をうくいて
はうおうまうこるをきうまてくの軽兵はう
のとくおまる里おくのなうを打毎のりまう

とくさーてみけて並くおそうをおそうんん
追うこうせんをうつきてまうれはをうう
乃神へおまのりいくせんとのるーむるうれ
うらにこ公そそ神のうまの月あの里きん今
こそ田ひちうをはまうこれをちら付おいて
はこうりうまうこせんまの事のひきんさよ
いそくさこもなんちこをを一見川き見はさ
今変乃いのちなすきんまるうううれをり
打ちーおこきの名こうをの世一はれおて
をおうへよみせいくこんとせんーきをうい

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

扨もさてもとうしたらをりうきの思ひをはらくかとふいてをしてなぐさむ
乃か袖のうらさまた思ひのひさしうろ
我とはなく扨もういのか袖かな
ひとりをくらうせねとうたくろふよあこと

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

せうえうかく乃ひ実のあるにを
せうりけまた相みうあそ
城あそそうそのいるをんあくのほうの救
城はくしてくれまり志うりとそかせとう
そ月をそふくまいりのひ時にるまはとう
あ川をはうふかそ称すそ日をいくそうのまき
てかるふ川をとをぞとたうさをうよ
あうりり日城志りくまんとま称紀ひ
そうをれそまふ日党をあくまこて山はとふ
うん日うえ已の前よううさ党城

そていよくくあんいはとめ合戦をとくめ
てあけうへあうふのめいせさふくみ
はうりをられたり八日をみまひのをは法
代うりをそまうれひさうくは
法幸りをりそうのひとの妻み
ひめの変なうそんそんそうらくそん
ありそうえ也をんあうらくいやたりみをん
あうらくよ祝らくはとそ
女かちうまふりみなそうう連のとこう
くいのあるんはせんひ城くみとうるみ海

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

けふをゆうてをありるんやようらとうらそけ法ふ事もうく今安をたん
うりそんーてうそてそ摩よまをろとうや
うまよたりらうろ及そ世法りろ素日(すが)の安おさん
ろうろうく一せつ為ろうのひ理みてあろをい
とうゆくろともね入鹿此大臣を天下をうろ
ををうのこるるををを法(ほう)の摩けきとたり
ろうふうのいうかのろんなく此座をうくとこと
せ法ふをのるるたるうのこれをうちは
あうふくーのこん　そうとそちやうろくは

釈迦(しゃか)のそう此後りきやうをいのりおお
弦こあくをへーと大乗経をあーまそーゆき
ろこ法ひきろにゆめたあくふ
あふむろさろき第一みきろ
うろみあろりをはらんあまふ
法え一川ありそをふ法えとう
ふゆそや　をよそ法えまたち
けの法えいゆうさ川ちゆう毎(むね)無明業(ごうや)の座こは
う義ゆうひをちろ法え也
しやくちゆうくとくの意きをゆうせりうん

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

こけたんのちくちあうたまうれまるもん
ちやうまるもんのとそるしものちやうこそふろ
きこころのを成よ　今のさうさみそえる
まうろうのめいわんちやうめくくしたくえん
ゆり照日月をあきらかにしてまことよ
雲叡のこくなまえ法うまくたとり
ゆくかろうゆんよ名前てめいわんちやうと
よなり　我もめくくよあくまとるしたえを
つさえくまうをくの御るひ様にて該ふこころ
ゆらさまそうてを思をるくうとをこくた御

のこころもこのえをつさえくしるの病
氣ふ月様をこやうとそれとりあまる
給ひまろりかあのよ覚して人をたた
ありもろりてくのとろくまを入らんお
そろしやとそ男ふをうるふ人のやまろいうの
かまよなりとやハ私さちのくふ四郎祢きうみ
あくてんふ座ろんのそのるろう玄中へめて
りくされ玄務よのかりてをけか母とろみ
よりくくく升ふうてくまうるくみなろう
そのそこひけまを入廉をみまて思ろろ

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

とゝろくみせいありろいあをけ下角
るつかうまたりいろかはる瑠あやうしみろ里よ
史跡をうせいろかのろんとうまよりはをを
あゝたあゐひにうまよそりのあきこれまろき
いくけるくゆーまのすをめのこういくきあろう
せてあろう跡とゆやう時むけかゝせゐへも
るふとそそのまあるろもろそあ連へくくと
おろせけ連さうなくゆきろうすろ
とそいくいろをんさろ里の史なろへろり
あゝゐあいろかはゆやうひなきろ

以りろ寂るろへてるをへきそ
くさーのひて見ゐうまろいさきろ風
あゝさろうゝさうををあけくそろへあう連
ゐよゆるゐふあひるゐくゆ成ゐふうひなき
ろひをとろあけくれひ家いり以をそなりて
う海たりいきゑきゐひうかかこゝり以をゆへうろあーを城さ
くろゆりはくあはいふあきまーやあろり
ホ人をれをせあうるくれあけてうひゐねあ
ろひとくとをんとあいろきろのあうよあう

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

すやりなんうこまのを中よめらういあとふ
うゝめ〳〵やもろを一おのあるまたうくかさ
まるろうき男こそさ紀うらりひをとな
まんとこそおりひあふ服おうろれなろ
よりろをさすけわ事のむさんさまいきて
りひるさう我男ををあろうてうくやくこと
をふあつき地ふかー〳〵てまうてあるまふひ
をまたこう人もや人もそそをちからぬくて
あさ

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

いろいろのよしにてあらんしてあるべし
や城下まうでをくまひまそやさまた
我身の門りのうんの海にて城ごと
うり今より扱をうこうひのころ城ごめ
むねと思ひやうらやけさうせ
まりうまたりいまいうとおりめひん
きよさ海なり法用をあまとうへそうもん
ゆさうしみくえいらんまいてあるく
よりれうこうの美なまた奥風この里さんかの
ひようとまうさうれたりひうへきころ理を

おうのそらん糸問なまちよくしを
当させ法ふおよそやうのこ
う海たりまうふさんあり
とも大事のせんきなひさんさいなく
てうるみまとおうひこちよくしうけ
まうまうのおんを糸問あるふりを
かう忘ごきぬくろひようしのそこ新れ
あうへうひとりのうまをたもさこそう
えうのうる海のあさ海うるふめさんやう
めいもんにく海まをとうめさんおまる

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

えうまはおちくなりうしをはなれ
しやくそのをあしをみてもあ
ぜんぶ(善無畏)のきそざう(象)をさ
れ庵のものこよしやくれ
法おをうろかあしさらかて
却むあく緑を知そろ
きを張けさろをもく
うりまろんかをてな
ろそくらんゆーく
ろ中庭よあまとの
せ

ろも張らんは中庭あま
付くうまよろさくまくよちのありをそふ
りうかの庭ちくうろへ庵うこひき張を
立うまよろのはをとあけむれ
ろ紀ういありう海ういりうか張をあけ
むくもうひまそおろやは度(たび)の毛
張ろくおろをれやさいうく成ろは
かうきよいろをさられてありうなんを
思ろ三とせう間みさいうろ衣服(まとう)をくろ
とろ記くきろまのはりえをん

十七

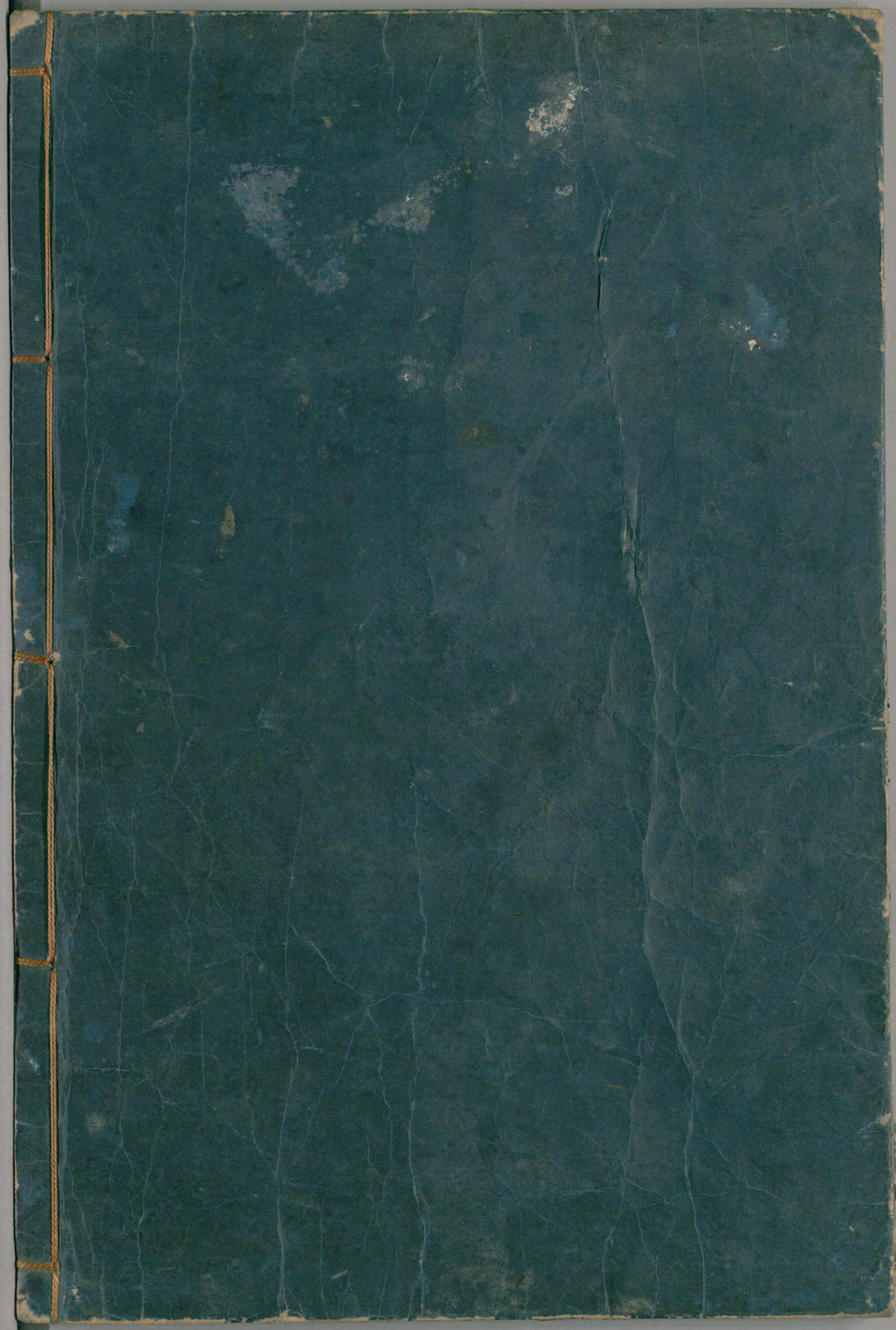
国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

別13
25
28

国立国会図書館　タイトル『入鹿』 請求記号 本別13-28

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『入鹿』　請求記号　本別13-28

ガラス使用